

Istanbul Weekly vol.6-no.23

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2017年6月16日（金）

— 今週のポイント —

- 政治：**国家教育相、トルコ日本科学技術大学設立に期待。
 ベルベルオール前 CHP 議員に懲役 25 年の判決が下される。
 トルコ、カタール断交問題解決に向けた働きかけを強化への早期解決を目指す。
- 経済：**トルコの 2017 年第 1 四半期の GDP 成長率、5%に。
 トルコの産業生産量、4月に急上昇。
- 治安：**警察がイスタンブール市でソイル内相の暗殺を計画していた DHKP/C メンバーを殺害。
 イスタンブール市で ISIL 関係者 18 名を拘束。
 イスタンブールで過去最高量となるコカイン 212 キロを押収。
- 軍事：**自由シリア軍に内部分裂が発生し、一部メンバーがシリア軍に加入。
- 社会：**エーゲ海地方でマグニチュード 6.2 規模の地震が発生。
 バイラム期間中は公共交通機関が半額に。

政治

【内政】

●国会、6月23日から夏季休会

10日、国会は6月23日から休会することを決定した。昨年のクーデター未遂事件から1年を迎える7月15日のみ臨時招集され、その後は、9月18日の新国会年度まで休会する。夏季休会の時期を早めたことを反映し、通常国会の会期開始である10月1日を、9月末からに前倒しする見通し。(6月11日付M紙20面)

●国家教育相、トルコ日本科学技術大学設立に期待

12日、ユルマズ国家教育相は、国会の国家教育・文化・青年スポーツ委員会でイスタンブールに設立予定のトルコ日本科学技術大学に関する設置法案が承認されたことを受けて、同大学が大学院大学になる予定であると述べ、「世界で最も優れた大学の1つになるであろう」と期待を寄せた。(6月12日付M紙インターネット版)

●ベルベルオール前CHP議員に懲役25年の判決が下される

14日、イスタンブール第4重罪裁判所は、2014年に国家機密に関する情報をジウムフリエツ紙に渡したとして機密保持に反する罪に問われていたベルベルオール前CHP議員に対し禁固25年の判決を下した。一方、同判決に野党側は猛反発し、クルチダルオールCHP党首は、「我々は正義のために闘う」と述べて同判決に抗議するため、15日にアンカラからイスタンブールを目指して徒歩によるデモ行進を開始することを発表した(6月15日付H紙20面)

【外交】

●トルコ、北イラクのクルド地域政府の独立投票に反対の姿勢を示す

9日、ユルドゥルム首相は、北イラクのクルド地域政府がイラク

からの独立の可否を問う住民投票を9月25日に実施すると決定したことを受け、「我々は全てのイラク国民が統一された領土及び政府の下にあることを希望する。十分に問題があるこの地域において新たな問題を引き起こすようなことはすべきではない。(住民投票実施の)決定は無責任に下された決定である」旨述べた。また、トルコ外務省も、声明を発表し、投票に反対の姿勢を明らかにした。(6月10日付H紙30面)

●トルコ、カタール断交問題解決に向けた働きかけを強化

(1)10日、エルドアン大統領は、イスタンブールでハリーフ・バーレーン外相と会談を行い、カタール断交を巡る問題について協議した。会談に同席したチャヴシュオール外相は、「エルドアン大統領は、カタールに対する断交問題に対して、ラマザン期間中に解決される必要があることを強調した」と述べた。(6月11日付M紙20面)

(2)14日、エルドアン大統領は、カタール断交を巡る問題について「カタールはテロを支援しておらず、トルコと同様にISILに対して断固とした立場を取っている。」とカタールを擁護した。また、サウジアラビア主導による解決の必要性を強調した。(6月14日付H紙20面)

(3)14日、チャヴシュオール外相及びゼイベキジ経済相はカタールを訪問し、タミム・カタール首長等と会談した。チャヴシュオール外相は会談後に記者団に対し「対話によって問題が解決されるべき」としてトルコとして引き続き同問題の解決に向けた働きかけを強めていく考えを述べた(6月14日付M紙インターネット版)

●トルコ、欧州人権裁判所の判決に言及

昨年7月15日のクーデター未遂事件後の非常事態宣言下で発出された法令によって、FETO関与の疑いで解職処分を受けた教員が処分の取消を求めて欧州人権裁判所に提訴して

いた件に関し、同裁判所は、トルコの国内法の手続に基づき、まずは非常事態宣言を受けて設置された特別調査委員会に提訴すべきとして訴えを退けた。クルトウルムシュ副首相は、「適切な判断である」と評価した。(6月13日付M紙15面)

●ユルドゥルム首相、ボリスフ・ブルガリア首相と会談

13日、ユルドゥルム首相は、(トルコ訪問中の)ボリスフ・ブルガリア首相と会談を行った。ユルドゥルム首相は、会談において、来年度EU議長国となるブルガリアに対し、トルコ国民のEUへの査証免除問題、難民支援に関する協定、EU加盟交渉及びEUとの関税同盟の見直し等について言及した。(6月14日付M紙17面)

経済

【マクロ経済】

●UNCTAD、2016年のトルコへの外国直接投資の急落を報告

7日に公表された国連貿易開発会議(UNCTAD)の「世界投資報告2017」によると、2016年のトルコへの外国直接投資(FDI)は前年比で31%減少し、120億ドルまで急落した。同報告は、同国の製造業がFDI流入総額の約半分を占めている点は石油に大きく依存している国とは異なるが、2016年のクーデター未遂がマイナスの影響を与えたとしている。(6月9日付HDN紙1面及び10面)

●トルコの産業生産量、4月に急上昇

8日、トルコ統計庁の発表によると、4月の産業生産量は対前年同期比6.7%上昇。前月比でも2.3%上昇し、4.1%上昇した2016年10月に次ぐ伸びであった。昨年7月のクーデター未遂事件後、政府は家具、家電、不動産分野の減税や雇用促進のための様々な施策を通じて景気の回復を促してきた。(6月9日付HDN紙10面)

●トルコのGDP成長率、2017年第1四半期5%に

12日に公表されたトルコ統計庁のデータによると、2017年第1四半期のトルコのGDP成長率は5%に達した。これまで同期のGDP成長率予測は4%であったが、内需と輸出の回復が経済成長を押し上げた。政府関係者は、GDP成長率の上昇について、改革の実現を通じて上積みが期待されると述べた。(6月13日付HDN紙1面及び10面)

【経済政策】

●シムシェッキ副首相、新たな信用保証基金モデルの方向性を提示

11日、シムシェッキ副首相は、信用保証基金(KGF)が2016年までに100億トルコリラの貸し付けを行い、本年6月4日までに累計1800億トルコリラ、28.7万件の信用・貸付取引を行ったと述べた。(6月12日付H紙9面)

【企業等の動き】

●TAV、株式の約8パーセントをフランスの空港運営会社に売却

9日、トルコの空港運営会社であるTAVの第2位の株主であるアクフェン・ホールディングは、同空港の株式8.12%をフランスのアエロポーツ・ドゥ・パリ(ADP)に1億6000万ドルで売却する合意に調印したと発表。ADPの代表によると、同社はトルコのTAVのみならず、中東、中央アジア、ヨーロッパ、アフリカの市場への拡大を計画。(6月9日付HDN紙インターネット版)

●TÜSİAD会長、トルコのEUプロセスへの執着及び同国の改革の必要性を主張

12日、ビレジレックTÜSİAD会長は、世界銀行と共催した会議において、トルコは経済指標が改善を示し始めており、EUの経済成長の回復も同国の輸出を押し上げていると述べた。同

会長は、EUプロセス等を推し進め、デジタル変革及びハイテクノロジーに集中しつつ、民主化、自由及び法の支配の維持の包括的な改革を開始する必要があると強調した。(6月13日付HDN紙1面及び10面)

●TÜSİAD会長、科学、技術、工学、数学に焦点を当てたトルコの教育改革の必要性を主張

13日、ビレジレックTÜSİAD会長は、科学(S)、技術(T)、工学(E)、数学(M)に焦点を当てたSTEMプロジェクトを通じ、トルコの教育カリキュラムを再構築する必要があると述べた。(6月15日付HDN紙11面)

●丸紅、サイデ・テキスタイルと業務提携へ

丸紅は、1993年に設立されたトルコの衣料品企業大手サイデ・テキスタイル社(資本金820万トルコリラ)との業務提携を行う予定。同社に対し45%(70億~100億円)の出資を行うことが想定されている。今後、丸紅は同社のロンドンの拠点を活用して日系メーカーへの商品企画等を強化する。なお、サイデ・テキスタイル社は、英国のファッションブランド「ニュールック」等と提携、また自社ブランドに「マックス・ファッション」等を展開し、ファストファッションに強みを持つ。(5月30日付Dunya紙16面他)

【その他】

●米国務長官、イスタンブールで来月開催される世界石油会議に出席

9日に世界石油会議(WPC)が発表した声明によると、ティラーソン米国務長官(エクソンモービルコーポレーション前CEO)は、7月9日から13日にイスタンブールで開催される第22回WPCに出席するため、トルコを訪問する。同会議は「未来のエネルギーへの橋渡し」というテーマで開催され、主要なエネルギー企業のトップや各国のエネルギー相が参加し、主催国であるトルコの石油・ガス産業の発展について議論するセッションも開かれる。(6月9日付HDN紙インターネット版)

●エミネ・エルドアン大統領夫人、女性の労働参加を訴える

9日、エミネ・エルドアン大統領夫人は、女性実業家協会(TICAD)のイフタルディナーにおいて、トルコは、男女間労働比率格差を2025年までに25%にまで減らすというW20が掲げたグローバル目標を達成する必要があると述べた。また、働く女性は、経済成長を支え、その細やかなアプローチでビジネス界に高い質をもたらすと信じていると述べた。(6月10日付HABERLER.COM)

●トルコ及びイランの食料、経済封鎖を受けているカタールへ

アラブ諸国からの経済封鎖に直面しているカタールでトルコの食料品が高い需要を満たしている。9日、エルドアン大統領は、「我々は兄弟であるカタールを見捨てない」と述べた。カタール市内のスーパー等では、ミルク、ヨーグルト、チキン等のトルコ産食品について「トルコから空輸された」という表示がつけられている。(6月12日付HDN紙11面)

●トルコとイスタンブールで開催される国際会議数が減少

国際会議協会(ICCA)によると、2015年の国際会議開催数においてトルコは211件の開催実績があり18位、イスタンブールは148件の開催があり8位であったが、2016年には治安の悪化を反映して上位50位にも入らなかった。パユンドウル・トルコホテル協会会長は、一般観光客数とは異なり国際会議の開催数は簡単には回復しないところ、3、4年先を見据えて回復の計画を立てていると述べた。(6月15日付H紙1面)

治安

【PKK関係】

●ハッキヤリ県でPKKがトルコ軍のヘリコプターを撃墜

8日、ハッカリ県においてトルコ軍のヘリコプターがPKKのロケット弾により撃墜されたが、緊急着陸に成功し、乗員に負傷者は出なかった。これを受けて警察とジャンダルマは、地域で大規模な対PKKオペレーションを開始した。(6月9日付HDNインターネット版)

●バトマン県でPKKの攻撃により音楽教師らが死亡

9日、バトマン県においてPKK戦闘員2名がコズルック市長の車両を銃撃し、22歳の女性音楽教師を含む民間人2名が死亡した。これに対し、治安部隊は同PKK戦闘員1名が乗車する車両をベキルハン区のジャンダルマ基地付近で発見して停止を求めたが、同戦闘員が車両で自爆し、兵士1名が死亡、別の兵士1名と民間人1名が負傷した。(6月10日付HDNインターネット版)

●ソイル内相:過去9か月間でPKK戦闘員1,068名を殺害

10日、ソイル内相は、ムシュ県で行ったスピーチにおいて、過去9か月間でPKK戦闘員1,068名が死亡、27名が負傷、369名が拘束、289名が投降したとの成果を述べる一方で、360件の未遂事件があり、PKKの脅威は依然として高いと述べた。同相は、「治安機関、地方自治体及び知事にPKK戦闘員の家族と連絡を取るよう指示しており、家族が戦闘員を説得することによって建設的な結果が生まれている。」と述べた。なお、最盛期には、PKKへの新規加入者が数千名になったこともあったが、今年5月にPKKに加入したのは僅か5名であり、1月から5月までの合計は45名に留まっている。(6月11日付HDNインターネット版)

●ヴァン県で発見された不審車両からPKKの銃器・爆弾等を押収

11日、ヴァン県において、パトロール中の治安部隊から逃走したタンクローリーが市街に乗り捨てられた状態で発見され、同車両からPKKのライフル25丁、弾倉40個、手榴弾197個、ロケット砲発射装置5台、対戦車砲50発、マシンガン2丁、プラスチック爆弾36個等が押収された。(6月11日付HDNインターネット版)



(写真は、6月11日付HDNインターネット版より)

●ウシュク国防相がPKKについて攻撃実行能力を喪失と発言
11日、ウシュク国防相は、「過去2年間でPKK戦闘員1万657名を無力化しており、PKKは路肩爆弾や遠方からの迫撃砲を除き、攻撃実行能力を失った。PKKを完全に壊滅し、再び脅威とならないよう引き続き必要な措置を講じる」と述べた。(6月12日付HDNインターネット版及びM紙インターネット版)

●ハッカリ県でPKKの迫撃砲によりトルコ兵6名が負傷

11日、ハッカリ県のチュクラジャ軍基地にイラク領から発射されたPKKの迫撃砲が着弾し、トルコ兵6名が負傷した。また、同県で地雷探査を行っていた村落警備員3名がPKK戦闘員に銃撃されて負傷した。(6月11日付HDNインターネット版)

●トルコ軍がハッカリ県の軍基地に侵入を試みたPKK戦闘員2名を殺害

13日、ハッカリ県において、トルコ軍は、軍基地への侵入を試

みたPKK戦闘員2名を殺害し、カラシニコフ3丁、銃創15個、手榴弾13個、自爆ベスト2着、救命用具等を押収した。(6月13日付HDNインターネット版)

【DHKP/C 関係】

●警察がイスタンブール市でソイル内相の暗殺を計画していた DHKP/C メンバーを殺害

13日、警察は、イスタンブール市カドキョイ区アジュバーデムで実施した対テロオペレーションで、DHKP/C メンバーのイナチ・オズケスキンを殺害した。同人は、ソイル内務相に対する銃撃・爆弾攻撃を準備していた。(6月13日付HDNインターネット版)

【ISIL 関係】

●警察がイスタンブール市で ISIL 関係者 18 名を拘束

11日、警察は、ジハーデスト・グループに対する捜査の一環としてイスタンブール市内 11 区で同時にオペレーションを実施し、ISIL 関係者 18 名を拘束し、銃器、弾薬、書類及びデジタル媒体を押収した。(6月11日付HDNインターネット版)

【FETO 関係】

●裁判所がFETO 関与容疑で拘束されていたアルンチ元副首相の娘婿を釈放

9日、アンカラ裁判所は、FETO に関与した容疑で拘束されていたアルンチ元副首相の娘婿エクレム・イエティル氏の釈放を命じた。イエティル氏は、数名の FETO 関係者が所属していた国際ナショナル・ヘルス・フェデレーションの理事長を務めていた。(6月9日付HDNインターネット版)

●非常事態宣言調査委員の兄弟がFETOに関与していたことが判明

FETO に関する調査等を行っている非常事態宣言調査委員会、ムスタファ・イクバル同委員の兄弟であるフセイン・イクバルが FETO に関与していたとして同委員の罷免を検討している。イクバルは、ギュレン系の銀行に10年間口座を保有し、海外からの送金はあったものの、同口座を数年間使用していなかったと容疑を否認している。(6月14日付HDNインターネット版)

●アムネスティ・インターナショナル・トルコのキリシュ代表をFETO 関与容疑で逮捕

6日にFETO 関与の容疑で拘束されていたアムネスティ・インターナショナル・トルコ代表のタニエル・キリシュ氏が逮捕された。同氏は、「バイロック」(FETO メンバーが使用するアプリ)を使用したことはないという容疑を否認している。欧州人権委員会は、キリシュ氏の逮捕に懸念を表明し、証拠が不十分であるとして同氏の早期釈放を求めるコメントを発出した。(6月11日付HDNインターネット版)

【その他】

●ディヤルバクル県で大麻 2 トン以上を押収

9日、ディヤルバクル県当局は、5月28日に1万人以上の職員を動員したオペレーションを実施した結果、2 トン以上の大麻を押収し、容疑者 8 名を拘束したと発表した。(6月10日付HDNインターネット版)



(写真は、6月10日付 HDN インターネット版より)

●アンカラ最高検察庁が駐アンカラ・ロシア大使殺害事件の容疑者5名を特定

12日、アンカラ最高検察庁は、昨年12月19日に発生したカルロフ駐トルコ・ロシア大使殺害事件に関与した疑いで容疑者5名を特定し、うち1名が実行犯の警察官に犯行を指示したと見て捜査している。同検察庁は、昨年11月下旬、実行犯の男がアンカラ市内のホテルで同大使殺害の指示を仲間から受けた可能性があるとして捜査を続けている。(6月12日付 HDN インターネット版)

●警察がアダナ県でシリア人とトルコの農民が生活するテント1000個を捜索

13日、警察は、アダナ県内4か所においてシリア人難民とトルコ人農民が生活するテント1,000個に対し、公共の安全とテロ防止を目的とする「ピース・オペレーション」の一環として捜索を実施し、無認可のショットガン4丁を押収するとともに、身分証明書を保持していないシリア難民を複数名確認した。(6月13日付 HDN インターネット版)

●警察がイスタンブールで過去最高量となるコカイン212キロを押収

13日、警察の麻薬取締チームは、3か月前に大量の麻薬が積載されたコンテナがブラジルからトルコに運ばれるとの情報入手し、同コンテナを運搬していた船舶を地中海トルコ海域で発見してイスタンブールのアムバルル港に停泊させ、同船舶からコカイン212キロを押収した。(6月14日付 HDN インターネット版)



(写真は、6月14日付、HDN インターネット版より)

●ウシュク国防相がイランとの国境にも壁の建設を検討中と発言

12日、ウシュク国防相は、マルディン県においてシリア国境沿いに建設中の壁の視察を行い、「国外からのテロリストの侵入を阻止するためにトルコ・シリア国境沿いで建設中の壁は700キロメートルまで建設を終え、イランとの国境沿いにも同様の壁の建設を検討している」と述べた。シリア国境警備には、壁、道路、ライト、センサー、カメラ、バルーン、ドローン等が導入され、複合型セキュリティシステムとなる予定である。シリアとの国境は平坦であるが、イラン国境は、山岳地帯であるため、壁の建設はより困難になると見られる。(6月15日付 HDN インターネット版)



(写真は、6月15日付 HDN インターネット版より)

【軍事】

●トルコ軍、今月から国産の対戦車ミサイル OMTAS の使用を開始

トルコ軍が今月からトルコの軍事企業ロケットサン社が開発した国産の対戦車ミサイル OMTAS の使用を開始することが明らかとなった。OMTAS は、射程が2.4キロメートルで、自動追尾システムを搭載している。(6月12日付 HDN 紙12面)

●自由シリア軍に内部分裂が発生し、一部メンバーがシリア軍に加入

トルコ治安当局筋によると、シリア自由軍(FSA)の内部衝突により、シリアのアル・バーブで33名が死亡し、55名が負傷した。FSA はアサド政権と対峙する上で、当初から内部の路線対立が最大の問題とされていた。FSA の分裂は、カタルを巡る外交危機により、同国からの財政面での支援不足に対する懸念が生じたことも引き金となっていると指摘され、60～70名の FSA メンバーが政府軍に移り、数名が YPG に加わった。さらに100名を超えるグループが政府軍に加わるとの噂も流れている。(6月15日付 HDN インターネット版)

社会

●ボスポラス第1大橋、工事のため80日間2車線が通行止めに

1991年の開通以降、大規模なアスファルトの修繕が行われていなかった「7月15日殉死者の橋」(ボスポラス第一大橋)で、6月12日から修繕工事が開始された。アルスラン運輸通信相によれば4回に分けて2車線ずつを通行止めにし、24時間ノーストップで作業を進め80日後の8月31日に完了予定。一方、車線が減少したため、渋滞が一時的に激しくなり、運転手からは不満の声も上がっている。(6月13日付 HT 紙22面)

●ボスポラス海峡が青緑色に

ここ一週間程、ボスポラス海峡の青緑色がかったことが話題となっている。ハジャテペ大学のサイダン教授は海峡の色の変化について「ここ10日間の黒海地方での降雨で急増した黒海のプランクトンが海峡に流れ込んできたため」と理由を説明しつつ、プランクトンは魚の餌となるため、「イワシの産卵数が増加し、来年はイワシが豊富な年となるだろう。」と述べた。(6月12日付 HT 紙21面)

●ブルサで女性専用車がブルサの電車に導入

ブルサ市内のメトロで女性専用車が導入された。アルテペ・ブルサ市長は、女性客からの苦情を減らすために導入したと説明した。市民からも支持され、導入対象外の駅にも新規導入して欲しいとの声が相次いでいる。4車両にて編成される車両の最後の車両が女性専用車両とされ、制度が導入されたオトサンシット駅の車両乗車地点には、足下に女性専用車両である事を示す黄色のステッカーが貼られた。(6月6日付 M 紙インターネット版)



(写真は、6月6日付 M 紙インターネット版より)

●イスタンブールでメトロバスが正面衝突

10日、事メトロバスのソーヴトゥルチェシュメ駅で、メトロバス同士が正面衝突する事故が発生し、3人が重傷、32人が軽傷を負った。事故後しばらく混乱状態にあったメトロバスの運行は、事故車両が現場から運ばれた事によりまもなく通常運行に戻った。事故原因の調査が続けられている。(6月11日付 S 紙インターネット版より)

●白血病を克服した子供たちが国際大会で大活躍

白血病を克服した子供たちのための競技会「Winners Games」がモスクワで開催された。トルコからも子供たちが参加し、10人の子供たちが金メダル3個、銀メダル1個、銅メダル2個を獲得するなど大活躍した。この国際大会は毎年モスクワで開催され、世界中の白血病を克服した子供たちが集まり、サッカー・陸上競技・水泳・卓球・チェスの競技に分かれて競い合う。(6月11日付 DN 紙 2 面)

●エーゲ海地方でマグニチュード 6.2 規模の地震が発生

首相府の発表によると、12日15時28分にエーゲ海を震源としてマグニチュード 6.2 の地震が発生した。揺れは、エディルネからムーラまで 13 県で観測された。地震の揺れが最も強く観測された都市のひとつイズミルでは、市民がパニックに陥り道路に避難したが、人的・物的被害は発生しなかった。エーゲ海地方では去年の 2 月にチャナッカレでマグニチュード 4~5 の地震が相次いで発生していた。(6月13日付 HT 紙 14 面)

●イスタンブール市内、パイラム期間中は公共交通機関が半額に

12日、イスタンブール市議会は、パイラム休暇期間中に、自動車ではなく、公共交通機関の使用を推奨するため、利用料金を半額にする事を決定した。公共のバス、メトロバス、トラムヴァイ、メトロ、や市営のフェリー等が割引対象。割引価格は、6月25日6時から開始され、27日24時まで適用される。(6月13日付 HT 紙 21 面)

●イスタンブールの 85 か所のビーチで海開き

イスタンブール市の遊泳水質調査委員会は、今夏の遊泳可能な海岸として 85 か所を選定した。これらの選定海岸が利用できる期間は、6月1日から9月15日まで。ギュネル・イスタンブール市健康管理局長は選定基準について、「欧州の規定に沿ったもので、海外周辺に排水管等の水質汚染原があるかどうかも含めて厳格に選定されている。」と述べた。期間中は15日に1回の頻度で水質検査が行われ、結果はインターネット上で閲覧が可能。(URL:<http://yuzme.saglik.gov.tr/> 英語で閲覧可能)(6月14日付 HT 紙 20 面)

●エーゲ海地震で専門家「イズミルは幸運だった」

12日にエーゲ海で発生したマグニチュード 6.2 の地震についてムラットハン地質学研究所の所長は、「地震がイズミル周辺の海域で発生していれば、揺れはマグニチュード 8~10 にもなり得た。その場合、推定 19 万 6 千軒の家屋が倒壊し、百万人が家を失う可能性があった。今回の地震でイズミルが大きな被害を受けなかった事は幸運であった」と述べた。(6月14日付 HT 紙 15 面)

●イスタンブール、プリンセス諸島で馬車用の馬が暴走

イスタンブールのプリンセス諸島で毎年夏のシーズンに多発する馬車の事故が今年も発生した。14 日昼ごろ、2 頭の馬が馬車の待機場所から逃げだして暴走。1 頭は通りを暴走、2 人が馬にぶつかる等して怪我をした。残りの 1 頭も治安当局の建物に体当たりをする等し、建物の壁を破損させた。馬も前脚に怪我を負った。(6月15日付 HT 紙 22 面)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公司
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
işİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイーダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MİT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail: istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB: http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook: <http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu>

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2017.1.1～2017.6.15 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃	盗	詐	欺	ぼったくりバー	高額絨毯購入(相談)		
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2016年		7件		2件		24件		2件
2017年	1件	4件	0件	0件	0件	6件	0件	0件

今週は、イスタンブール市内の観光地にあるレストランで食事をしていた旅行者の方が、客を装って店内にいた者に椅子の上に置いていた鞆を窃取される事件が発生しています。同様の手口による盗難事件が多く発生しておりますので、お手回り品にご注意ください。

★当館 HP 更新のお知らせ★

●【実施報告】ベイリクドウズ日本庭園オープニング (6/12) **NEW**

●【実施報告】キャーウトハネ IT0 高校日本文化祭 (6/9) **NEW**